

[生涯学習]課 行政経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名
	(生涯学習課)
1	家庭教育推進事業
2	生涯学習活動推進事業
3	生涯学習講座事業
4	中央公民館管理事業
5	町民会館管理事業
6	社会体育振興事業
7	温水プール管理事業
8	グラウンド等管理事業
9	野外活動施設管理事業
	(歴史民俗資料館)
1	文化財保護事業
2	歴史民俗資料館運営事業
3	歴史文化教育事業

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯学習課	No.	1
事業名	家庭教育推進事業		

■基礎情報

目的	将来を担う子どもたちの健全育成は、学校・家庭・地域及び子どもに関する関係機関が連携し、すべての教育の基である家庭教育の充実を図り発展させること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座 ※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体験教室等を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年問題協議会 会議年1回、啓発活動 	
現在における経過又は課題	<p>昨今の社会構造の変化に伴う子育て家庭の孤立等の要因により、家庭内での問題が取り上げられている。その為、学校、家庭、地域が連携して、自然体験や親子ふれあいの場づくりに務め、家庭や地域が共に子育てに参加し、その教育力を高めることが必要である。</p> <p>今後の課題点として、父子で参加できる事業を昨年度に引き続き検討が必要と考えている。</p> <p>また、青少年を取り巻く状況については、青少年問題協議会を年1回開催し、町内ショッピングセンター店舗にて啓発活動を実施している。</p>		
令和4年度の目標又は改善策	<p>親子講座や親子がふれあいながら、ともに学習できる機会の提供などの充実を図る。</p> <p>コロナ禍であるため、シリーズ開催ではなく一日講座を多く実施するのも方法の一つであると考え。また、外で行う講座も取り入れ、少しでも多く実施していく必要があると考える。</p> <p>教室に参加した方にアンケートを実施しながら、新たなニーズをつかんでいく。</p> <p>事業や開催時期などが重複しないよう、他の部局と情報を共有しながら連携を密にしていく。</p> <p>いずれにしても、新型コロナ感染拡大防止に努めながら、状況に応じて事業の可否などを判断していく必要がある。</p>		

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成				
	基本政策	第3節	青少年の育成				
成果 指標	家庭教育指導など青少年の健全育成への満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
63.6%	65.1%	66.0%	-	-	-	-	70.0%

成果 指標	学校と地域や家庭との連携の満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
62.4%	65.6%	65.0%	-	-	-	-	68.0%

■ 3年間の目標

目標						
	項目(単位)	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	中高生等の居場所づくりの推進・啓発を行う
R6 年度	青少年の社会活動への参加機会の創出を行う

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
	家庭教育講座、親子料理教室、親子ふれあい事業については、コロナ感染状況をみながら開催の実施を検討
7	青少年問題協議会の開催
9～	家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（10月～2月）

■目標又は改善策に対する取組内容

<p>○家庭教育講座の受付及び事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科おもしろ実験講座 「流れる空気 高ーく、長ーく飛ぶ紙飛行機を作ろう！」（1回 参加人数22人） 「流体力学 空高く上がる立体だこを作ろう！」（1回 参加人数32人） 「目の錯覚 消えるマジックを作ろう！」（1回 参加人数27人） ・親子で学ぼう お天気の不思議（1回 参加人数32人） ・親子できれいな座り方と歩き方を身に着けよう（2回 1日目参加人数6人、2日目参加人数8人） <p>○ふれあいまつり2022</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大口中学校PTA 千本釣りゲームの実施（参加人数303人） ・大口北小学校PTA 親子いすづくり（99組参加） ・大口西小学校PTA 輪投げゲーム（参加人数703人） ・大口南小学校PTA 千本釣りゲーム（参加人数309人） <p>○青少年問題協議会</p> <p>青少年問題協議会で巡回パトロール実施（ヨシヅヤ、MEGAドン・キホーテUNY） 中学校・保護司と連携して、校外巡視時に啓発チラシ・グッズを配布</p>

■評価

<p>年度後期の開催の講座となったが、家族で学べる講座を開催することにより、一緒に考え、一緒に作業ができる内容であったため、家族のふれあいの場を設けることができた。参加者からも概ね好評価をいただいている。またアンケートでやってほしい講座などを聞いているため、令和5年度に実施できるよう検討する。</p> <p>青少年問題協議会においては、令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため巡回パトロールを中止とし、令和4年度、会議において江南警察署による地域の状況を聞き、令和4年8月26日に巡回パトロールを行うことができた。</p> <p>令和4年度は、NPO登録団体の活動（父子料理教室）が実施できていないため、令和5年度は団体と連携を図りながら、事業の展開を図っていきたいと考える。</p>

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯学習課	No.	2
事業名	生涯学習活動推進事業		

■基礎情報

目的	人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づく「生涯学習のまちづくり」を目指すこと。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・文化振興（芸能文化事業）・地域学校協働本部（学校支援地域本部）事業	<ul style="list-style-type: none">・文化協会支援・二十歳の集い実行委員会支援・リフレッシュリゾート施設利用助成・少年少女発明クラブ支援
現在における経過又は課題	<p>生涯学習活動については、大口町生涯学習基本構想に基づき、住民一人ひとりが生涯学習に取り組む機会が得られるよう、様々な事業を展開している。</p> <p>文化協会及び各種団体については、コロナ禍で活動が縮小傾向となっているため、活動ができるように支援していく。</p> <p>地域学校協働本部（学校支援地域本部）事業については、安定した運営を引き続き継続していけるよう、体制を維持していくことが必要である。</p>	
令和4年度の目標又は改善策	<p>開かれた学校づくりの一環として、地域住民が学校支援ボランティアとして協力ができるよう、地域学校協働本部（学校支援地域本部）は学校が困っていることを把握し、その問題に対応できる学校支援ボランティアを派遣できるように体制を整えていく。</p> <p>文化協会及び各種団体については、コロナ禍でイベントや教室が再開できるように相談に乗りながら事業を進めていく。</p> <p>少年少女発明クラブについては、引き続き支援を図っていく。</p> <p>いずれにしても、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、状況に応じて事業の可否や内容の変更などを判断していく必要がある。</p>	

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	学校支援地域本部事業ボランティア登録数						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
97人	79人	86人	80人	79人	100人	100人	100人

■3年間の目標

目標						
	項目(単位)	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5年度	生涯学習を通じた生きがいつくりの創出及び啓発を行う
R6年度	生涯学習の拠点としての学校支援本部体制の整備を行う

■作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4	大口町文化協会補助金交付決定 事業の展開支援(4月~3月) 生涯学習のまちづくり事業委託契約 町NPO団体と協働委託契約を締結
6	芸能文化事業の展開(6月~2月) ・ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、おおぐち合唱祭、ダンス&ミュージック
7	二十歳の集いの実行委員会立ち上げ 事業の展開(8月~1月)
1	二十歳の集い開催
随	リフレッシュリゾート施設利用申請受付、利用券交付(4月~3月)

■目標又は改善策に対する取組内容

文化協会の事業や地域学校協働本部（学校支援地域本部）事業において、コロナ対策を行ったうえで、コロナ禍以前の活動が徐々に行えるように各事業を実施した。

○芸能文化事業

ほほえみコンサート（1回）

大人のピアノ発表会（1回）

○二十歳の集い実行委員会支援

二十歳の集い参加者168人参加

○文化協会支援

文化部、芸能部合わせて19団体、207人

事業実績（作品展・教室・発表会）60事業

○リフレッシュリゾート施設利用助成

助成額1,755,000円

（日間賀島203件 昼神温泉216件 共済12件 松江104件 FDA利用60件）

○地域学校協働本部（学校支援地域本部）事業

ボランティア登録人数 79人

・大口中学校（抜粋）

「ふれあい清掃」：生徒と一緒にプランター及び花壇の植替えや除草などを実施（延べ28回 156人）

「図書館サポート」：推薦図書ポップ作り、本のカバー貼り、本の清掃などの作業を実施（延べ18日 120人）

「特別支援学級授業サポート」：ボランティアと学校との打合せ会により授業分担を決め実施（延べ263日 343人）

小学校支援

・大口南小学校 環境サポート（延べ24回220人）、図書館サポート（延べ14回74人）などを実施。

・大口北小学校 環境サポート（延べ34回68人）、図書館サポート（延べ13回80人）などを実施。

・大口西小学校 環境サポート（延べ22回101人）、図書館サポート（延べ11回83人）などを実施。

■評価

○文化協会においては、令和2年度及び令和3年度の芸能発表会及び文化祭を中止としたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止をとりながら実施することができた。下部団体が行う作品展・教室・発表会などについては、令和3年度より23事業増となったが、コロナ禍前に比べると半分以下であるため、令和5年度は慰問施設での活動や発表会の活動数がコロナ禍前までに近づくことを目標に、協会全体の活動の活性化を進めていく。

○学校支援地域本部については、令和4年度から国の動きを勘案し「地域学校協働本部」と名称を変更した。コロナ禍で、活動自粛が継続したものの、事業の展開は、登録ボランティアや学校関係者の努力によって途切れないように繋いでいけているのが現状である。今後において、発足当初のコンセプトである「学校を助ける立ち位置ではなく、自らの意思で活動し、子どもを育てることができる活動を学校側に提案していく」ことをボランティア自らからアイデア出しができればと考える。今後も学校支援活動が地域における役割を担っていけるよう支援を継続していく。

○リフレッシュリゾート施設利用助成については、令和3年度から220件増加している。引き続き、PRをしながら利用を促せればと考える。

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯学習課	No.	3
事業名	生涯学習講座事業		

■基礎情報

目的	<p>町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設し、個々の教養や技術を習得すること。</p>		
事務内容	<p>・ 定期講座 ※主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に随時1講座6回程度開催する。</p>	<p>・ 旬の講座 ※その季節にあわせて1講座1回から3回程度開催する。</p>	
現在における経過又は課題	<p>前期・後期に分けて様々な講座を企画している中で、講座による参加者の数にばらつきが発生している点は否めない。しかしながら、行政における講座開催の役割としてはきっかけづくりが主なものであるため、参加者数にとられない様々な講座の紹介としての役割を担えればと考えている。</p> <p>令和3年度は家庭教育講座を含め、3講座しかできなかったため、講座の実施方法について検討する。</p>		
令和4年度の目標又は改善策	<p>状況に応じて事業の可否などを判断していく必要があるが、講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、徐々に講座を実施していく。</p> <p>講座内容については、企画する上で、旬な講座も取り入れながら実践に役立つ講座や地域の住民が講師となり活躍できる講座の開設を中心に、参加人数の多寡にとられず、様々な方面から情報を模索し、きっかけづくりとなる講座を考える。</p> <p>コロナ禍であるため、シリーズ開催ではなく単発講座を多く実施するのも方法の一つであると考え。また、外で行う講座も取り入れ、少しでも多く実施していく必要がある。</p>		

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	生涯学習講座のメニューの数の満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
59.5%	63.3%	-	-	-	-	-	65.0%

■ 3年間の目標

目 標	/					
	項 目 (単位)	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	住民ニーズに応じた生涯学習講座を開催する
R6 年度	講座から派生した地域活動などの支援を行う

■ 作業工程 (当該年度)

月	作 業 内 容
随時	<p>コロナの様子を見ながら徐々に生涯学習講座を開設 生涯学習講座の受付及び事業展開</p> <p>* 事業の展開と共に、新たな講座等を企画していく。</p>

■目標又は改善策に対する取組内容

- 姉妹都市提携講座
「来待石彫刻体験講座」（1回 参加人数10人）
- 生涯学習地域連携講座
「心理学によるストレスとの向き合い方 ～幸福へつなげるストレスの理解と対処～」
（1回 参加人数23人）
- 青少年のネット安全・安心講座
「みんなのネットモラル塾」（1回 参加人数11人）
- 高齢者教室～さくら大学～（7回、延べ参加人数179人）

■評価

生涯学習基本構想のキーワード「学びを創る」「学びに集う」「学びをつなぐ」という考え方のもと、「誰でも、いつでも、気軽に学べる」をモットーに、幅広い年齢層の方を対象に様々な学習機会の提供を行った。

「みんなのネットモラル塾」については、愛知県社会活動推進課と「心理学によるストレスとの向き合い方」については愛知県生涯学習推進センターと連携して講座を行った。参加人数は少なかったが、今の社会情勢を踏まえて講座を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大防止として、講座中に席の間隔をあけることや換気をするなどした。また受付時において、窓口受付だけでなく、往復はがきを使った受付方法をおこない、申込者が密にならないよう対策に努めた。

生涯学習のきっかけづくりとして、今後も色々な講座を企画していきたい。

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯学習課	No.	4
事業名	中央公民館管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が気楽に集まり教養や技術を習得することができると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・施設の利用者対応・設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認
現在における経過又は課題	施設内の老朽箇所が散見されるため、随時対応していく。特に配管設備や電気設備について、急な不具合が発生する事案が度々あり、その都度修繕対応が必要である。また、周辺の樹木の剪定・伐採など、外観美化に努めていく。
令和4年度の目標又は改善策	随時発生する不具合において、その都度迅速に対応していく。また、光熱水費について、経済的な面、環境的な面から節制を心掛けていく。 施設の利用については、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、利用の仕方を考えていく必要がある。 修繕については、自家発電設備の蓄電池、自動ドアの駆動部分の修繕を中心に実施していく。

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果指標	(この欄は削除されています)						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

■ 3年間の目標

目標	施設の突発的な不具合に際し、優先度を考慮しながら迅速に対応する。					
項目(単位)	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	光熱水費の節減を図る
R6 年度	施設の効率的な運用の検証を行う

■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主なもの）

5月	集会室軒天修繕	183,700円
10月	玄関自動扉修繕	215,600円
2月	駐車場区画線修繕 （荷物搬入出スペース、軽自動車専用スペースの区画線設置）	96,800円
3月	No.1揚水ポンプ取替修繕	550,000円

工事

12月	3階湯沸室のガス瞬間湯沸し器取替工事費	48,000円
	3階図書館事務室等空調取替工事費 （既設ガス空調の故障による。小型のガス空調は現在製造していないため、電気空調へ変更して取替工事を実施）	1,265,000円
2月	電話交換機接続工事費（ひかり電話）	82,500円
	いこい工房水道メーター設置工事費	166,100円
3月	LAN配管及びコンセント設置工事費（ひかり電話）	99,550円
	いこい工房電気メーター設置工事費	128,700円
	いこい工房機器ガス種変更工事費 （都市ガスからプロパンガスに変更）	80,300円
	いこい工房都市ガス配管撤去工事費	61,270円

■評価

施設老朽化のため突発的な不具合や故障については、都度修繕しながら施設の有効活用をしていく。電気、ガスの高騰により光熱水費負担が大きいため、施設利用者の理解を得ながら節電に努めていく。ウィズコロナ下での施設利用を進めるにあたり、備品の消毒、利用者への注意喚起など感染防止対策を講じながら利用促進を進めた。

中央公民館及び図書館の電話をひかり電話に更新した。このことにより、役場や健康文化センターへの外線通話無料や電話番号表示ができるようになった。

コロナ禍使用されていなかった「いこい工房」の有効活用をすすめるにあたり、水道及び電気の子メーターを設置し、いこい工房の電気及び水道使用量の差別化を図った。

水洗トイレの流水量が少なく排水溝が度々詰まるため、流水量を調整した。

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯学習課	No.	5
事業名	町民会館管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が学習成果の発表を行う場や講習等の教養を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・ 支払処理・ 消耗品等の補充・ 除草等清掃作業
現在における経過又は課題	<p>開館からすでに30年以上経過しており、施設の老朽化や非構造物の耐震診断の結果、屋根の雨漏り箇所や天井材に不具合が確認されていることから、平成30年度に大規模改修工事を行った。令和2年度には2階ホールの舞台吊り物装置の改修工事を行い、経年劣化による危険性に対して万全を期した。</p> <p>町民会館駐車場について、経年劣化により舗装面が傷んでいるため、改修工事の必要がある。エレベーターは平成2年竣工以来使用していること及び部品が令和6年3月をもって供給終了となるため対策を講じる。</p>
令和4年度の目標又は改善策	<p>施設の効果的な運用を図るとともに、修理箇所が発生した場合はその都度対応するなどして、適切な維持管理を実施していく。</p> <p>エレベーターは30年以上使用しており、耐用年数が経過している。交換が必要な機器の部品が令和6年3月をもって供給が終了なるため、機器の交換が必要となる。</p> <p>施設の利用については、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、都度利用の仕方を考えていく必要がある。</p>

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

■ 3年間の目標

目標	施設の突発的な不具合に際し、優先度を考慮しながら迅速に対応する。					
項目(単位)	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	町民会館駐車場の舗装工事
R6 年度	施設の効率的な運用の検証を行う

■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認を
3	昇降機設備改修工事
	* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主なもの）

- | | | |
|-----|-----------------------------------------------|----------|
| 6月 | 2階南側客溜り排煙窓（1か所）修繕 | 220,000円 |
| | （換気のために開けた排煙窓が閉められなくなったため修繕） | |
| 12月 | 2階ホールのステージ脇移動通路修繕 | 98,890円 |
| | （ステージ脇移動通路の支え部分の破損により、ガタつきや傾斜が生じ歩行に支障があるため修繕） | |
| 2月 | 2階南側客溜り排煙窓（2か所）修繕 | 412,500円 |
| | （排煙窓の開閉ダイヤルが経年劣化により回しづらくなったため修繕） | |

工事

- | | | |
|----|---------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 3月 | 昇降機設備改修工事費 | 6,160,000円 |
| | （竣工以降エレベーターの更新をしておらず、また廃番となる部品があることを考慮し、モーターや基盤、操作ボタンなど必要最低限の機器更新と室内照明のLED化を実施） | |

■評価

30年以上経過しているため経年劣化による修繕、特に水周りの修繕が多くあった。和式トイレの配管からの水漏れ、トイレ手洗い場下部の排水管の錆による水漏れなど、利用者の使い方や経年劣化が原因と思われる修繕を実施した。修繕はその都度進めていく。

コロナ禍、換気のため排煙窓を開ける機会の増加により、開閉ダイヤルが重く回しづらい、開閉がうまくいかない等排煙窓の不具合が浮き彫りになったため、部屋利用の多寡など優先度を加味しながら修繕を進めていく。

昨年度から引き続き、中央公民館集会室を新型コロナワクチン接種会場として利用したため一般利用ができないことを鑑み、その代替え場所を町民ホールとし利便性を図った。（卓球台7台を設置）

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯学習課	No.	6
事業名	社会体育振興事業		

■基礎情報

目的	町民が暮らしの中に「体育」を取り入れ「健康」と「元気」になれるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・スポーツ教室開催・スポーツ大会開催・体育協会支援		
現在における経過又は課題	<p>若い世代から高齢者まで、生涯にわたって健康・体力づくりに取り組めるよう、多様なスポーツに親しむ機会の充実に努めていく。</p> <p>子ども向けの事業については、統合型地域スポーツクラブであるNPO法人ウィル大口スポーツクラブと連携しながら、引き続き事業を継続していく。</p> <p>団体支援については、団体のみが参加する活動だけではなく、地域の人たちも参加できる形での地域貢献の場を設けていく必要がある。</p>		
令和4年度の目標又は改善策	<p>普段仕事や子育て等でなかなかスポーツに触れ合う機会の少ない世代に対し、生涯スポーツのきっかけとなるようなアプローチを実施していく。</p> <p>教室や行事において、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、事業の可否について判断をしていく必要がある。町民体育祭、健康ジョギングなどのイベントについては、過去に中止となっているため、運営方法を見直しながら検討する必要がある。</p> <p>スポーツ教室については、スポーツ推進委員会を中心にプロジェクトを組織し、継続的に行っているタグラクビー教室を中心に計画していく。</p> <p>体育協会及びスポーツ少年団については、自立した運営が図れるよう引き続き支援を行っていく。</p>		

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果指標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
58.6%	54.6%	60.0%	-	-	-	-	70.0%

成果指標	町が主催したスポーツ大会・教室の参加人数						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
6,550人	5,500人	—人	—人	400人	6,900人	6,950人	7,000人

成果指標	スポーツ少年団指導者有資格者（指導者に対する割合）						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
36.0%	96.0%	71.4%	93.3%	85.0%	90.0%	95.0%	100.0%

成果指標	スポーツ施設利用者数						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
500,360人	544,289人	473,726人	513,241人	563,920人	560,000人	565,000人	570,000人

■ 3年間の目標

目標						
	項目（単位）	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	体を動かすきっかけづくりとなる生涯スポーツの啓発をする
R6 年度	スポーツを通じた交流・ネットワークの充実を図る

■ 作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	各団体補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
5	タグラグビー教室
9	地区別ソフトボール大会開催
10	町民体育祭開催
1	愛知駅伝参加
3	桜並木健康ジョギング開催
	・スポーツ推進委員会議は毎月1回開催

■目標又は改善策に対する取組内容

○講座・教室

タグラグビー教室（1回 参加人数44人）

○スポーツ推進委員活動

委員会（委員会11回開催、東海四県プロジェクト、トスポーツ教室、町民体育祭、桜並木健康ジョギングなどを運営）

東海四県スポーツ推進委員研究大会（事例発表：「世代を超えたスポーツのまちづくり」～知る、観る、そしてプレイ「タグラグビー」～）

○スポーツ大会開催

地区別ソフトボール大会（9月4日、11日開催予定が中止）

→新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

地区別対抗グラウンドゴルフ大会（9月17日開催予定が中止）

→新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

スポーツチャレンジ2022（参加人数60人：第1部28人、第2部32人）

愛知万博メモリアル第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会（20人参加）

桜並木健康ジョギング（参加者数306人：5km62人、3km148人、1.8km96人参加）

○体育協会・スポーツ少年団事業

体育協会（10団体）

春季町民総合体育大会

大口町・扶桑町親善体育大会

秋季町民総合体育大会

グラウンドゴルフ大会などを実施

スポーツ少年団（4団体）

全国スポーツ少年団軟式野球交流大会地区大会

体力テスト

愛知県スポーツ少年大会西尾張支部大会などを実施

■評価

- 地区別ソフトボール大会及び地区別グラウンドゴルフ大会については、コロナ禍における実施中止に伴う判断基準として基準日に、感染症法における分類一覧「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に緩和されない場合は中止と定め中止とした。

スポーツチャレンジ2022では、町民体育祭の中止に伴い、個人が参加することができるイベントを実施した。新型コロナ感染拡大防止として、事前に申し込みがあった参加者及び付き添い者のみが会場内に入り、常に消毒などの対策に努めた。

- スポーツ推進委員活動について、スポーツチャレンジやタグラグビー教室を行いつつ、令和4年度は東海四県スポーツ推進委員研究大会で、「世代を超えたスポーツのまちづくり」をテーマに長年実施し続けたタグラグビーを中心に事例発表を行った。事例発表では実演などを用いて、ルールなどわかりやすく説明を行った。

- 体育協会及びスポーツ少年団の運営については、各団との連携を密にとり、円滑な事業となるよう尽力した。今後も各団の自主自立による運営のため、助言などを行っていく。

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯学習課	No.	7
事業名	温水プール管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるような施設の一つとして、一年を通して活用できる温水プールを整備することで町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。		
事務内容	・ 指定管理の範囲外の工事等について、検討し実施。		
現在における経過又は課題	施設の管理運営は平成22年度から指定管理者に委ねられており、引き続き令和2年度から令和6年度まで5年間の指定管理協定をウィル大口スポーツクラブと締結している。 施設自体は、開館からすでに30年以上が経過しており、随時修繕等を実施していく必要がある。		
令和4年度の目標又は改善策	施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、施設の適正な運営が行われているかの指導・助言を実施していく。また、指定管理者との連携を密にするため、定期的な連絡会議を引き続き実施していく。 施設の工事については、循環ダクトが老化しており、入れ替える必要があるため、プールの休館日に合わせて実施していく。その他の修繕については、協議のうえ、施設の改修が必要な個所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。 施設の利用については、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、都度利用の仕方を指定管理者と協議しながら考えていく必要がある。		

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
58.6%	54.6%	60.0%	-	-	-	-	70.0%

■3年間の目標

目標						
	項目(単位)	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	温水プール施設の長寿命化に対する検証を行う
R6 年度	温水プール施設の長寿命化に対策の計画作成

■作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4	指定管理年度協定締結
1	機械室内循環ダクト更新工事
	年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。 大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。

■目標又は改善策に対する取組内容

工事

1月 機械室内循環ダクト更新工事 4,790,500円
(3階機械室内のRAダクト(プール内の空気を吸い上げる)で、経年劣化(錆)により崩落し、その後一時的補強を施した部分を含むRAダクトを交換した)

温水プールのネーミングライツ契約 550,000円(令和4年4月~令和5年3月分)
(契約期間 令和3年10月1日~令和8年9月30日 契約金額 2,750,000円)
愛称: オークマ温水プール 愛称の表示場所: プール施設(正面、東側)、案内板

指定管理者であるウィル大口スポーツクラブと定期的に情報共有会議を実施
(指定管理施設の修繕計画や利用人数などの状況報告など)

■評価

令和3年8月4日にオークマ株式会社とネーミングライツ契約を締結し、総合運動場に命名された愛称「オークマ温水プール」を施設名として使用している。(令和3年10月から令和8年9月末まで)。

温水プールは、竣工から41年経過し、大規模改修工事から20年経過している。比較的小規模の修繕は都度実施しているが、雨漏りなど費用負担が大きな修繕を進めていく必要がある。また、施設活用を今後どうしていくかをウィル大口スポーツクラブと協議し、修繕計画を見える化していく。

「大口町公の施設指定者審議会」の中間評価では、指定管理者であるウィル大口スポーツクラブは、「公の施設の効用が十分に発揮された概ね良好な施設管理・運営がされている」と評価された。今後もウィル大口スポーツクラブの動向を注視していく。

ウィル大口スポーツクラブと連携を密にし、各施設において新型コロナ対策を徹底しながら運用を図った。

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯学習課	No.	8
事業名	グラウンド等管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、また、多種多様なスポーツ種目の要望に応えられるように施設を整備し、町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。
事務内容	・ 指定管理委託した施設の町負担分支払
現在における経過又は課題	<p>平成27年度からすべてのスポーツ施設を指定管理者制度に移行したため、指定管理者と調整しながら施設の維持にあたっている。(平成27年度追加施設：野球グラウンド、町テニスコート、屋内運動場)</p> <p>令和2年度には、夜間のスポーツ施設の利用を可能にするため、わかしゃち国体記念運動公園に照明設備を設置した。(令和3年度から利用開始) また、総合グラウンドのゲートボール場1面を駐車場に改修し、周辺施設利用の際の駐車台数確保に努めた。令和3年度には、総合運動場高圧機器取替工事費を行った。</p> <p>引き続き、全ての施設がより適正に管理・運営されるような施設管理の方法を検討していく。</p>
令和4年度の目標又は改善策	<p>管理運営が指定管理者に委ねられている施設について、指定管理者が適切な管理に努めるよう指導・助言をしていく。また、経費抑制や適正な管理ができるよう協議を続ける。</p> <p>施設の利用については、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、利用の仕方を指定管理者と協議しながら考えていく必要がある。</p>

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
58.6%	54.6%	60.0%	-	-	-	-	70.0%

■ 3年間の目標

目標	/					
	項 目 (単位)	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	スポーツ施設全般の機能充実を図る
R6 年度	スポーツ施設全般の機能充実を図る

■ 作業工程 (当該年度)

月	作 業 内 容
4	<p>指定管理者制度導入施設の年度協定締結</p> <p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の運営を見守っていく。大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>

■目標又は改善策に対する取組内容

委託

2月 グラウンド注意看板設置委託 191,400円

(わかしゃち国体記念運動公園(駐車場出入口付近2か所に設置)及び河北グラウンド(駐車場出入口付近1か所に設置))

総合運動場のネーミングライツ契約 600,000円(令和4年4月～令和5年3月分)

(契約期間 令和3年10月1日～令和8年9月30日 契約金額 3,000,000円)

愛称: オークマグラウンド 愛称の表示場所: 正門、管理棟、A面スタンド、案内板

■評価

わかしゃち国体記念運動公園のナイター設備の令和4年度の使用状況は、一般利用として240件8,418人(件数の前年比1.58)、ウィル大口スポーツクラブ自主事業として431件24,737人(件数の前年比1.54)の利用があった。

令和3年8月4日にオークマ株式会社とネーミングライツ契約を締結し、総合運動場に命名された愛称「オークマグラウンド」を施設名として使用している。(令和3年10月から令和8年9月末まで)。

ウィル大口スポーツクラブと連携を密にし、各施設において新型コロナ対策を徹底しながら運用を図った。

オークマグラウンド北側の「花見橋」建築工事期間中、新田橋から平和橋間の尾北自然歩道の一部を通行止めとしたことに伴い、オークマグラウンド外周の一部を、一時的に区画して尾北自然歩道のう回路とした。

わかしゃち国体記念運動公園駐車場の放置車両について、昨年度提訴した車両所有者との裁判は、令和4年6月9日に和解が成立し、その席上で和解金を受領した。

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯学習課	No.	9
事業名	野外活動施設管理事業		

■基礎情報

目的	町民が自然にふれあいながら規律、協調、友愛の精神を養い、心身ともに健全に、また、より豊かな心を養うことを目的とし、安心して利用できる施設管理を目的とする。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認	<ul style="list-style-type: none">・支払処理・消耗品等の補充
現在における経過又は課題	<p>地元住民の有志グループに日常管理を委託してきたが、大きなトラブル等もなく現在も同じグループに日常管理を委託している。</p> <p>開場からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。アスレチック施設については経年劣化が目立ってきており、毎年の遊具点検により使用の可否を見極めながら、運用を図っていく必要がある。</p>	
令和4年度の目標又は改善策	<p>施設が老朽化しているため、修繕などで対応していくか、点検で撤去推奨判定の遊具については、撤去などの措置を行っていく。</p> <p>日常管理を委託している地元の有志団体の構成員が高齢化しているため、相談しながら継続して管理ができる方法を検討していく。</p> <p>今後の施設のあり方については、引き続き方向性を検討していく。</p> <p>施設の利用については、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、利用の仕方を考えていく必要がある。</p>	

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
58.6%	54.6%	60.0%	-	-	-	-	70.0%

■3年間の目標

目 標	/					
	項 目 (単位)	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	施設の遊具の適切な管理・運用を図る
R6 年度	施設の遊具の適切な管理・運用を図る

■作業工程 (当該年度)

月	作 業 内 容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

■目標又は改善策に対する取組内容

アスレチック遊具の安全点検を年1回実施した。

修繕（主なもの）

11月 ふれあいの森案内標識撤去修繕 77,000円

（県道小口岩倉線から白山ふれあいの森へ向かう町道の入口付近に設置の「ふれあいの森」案内標識の支柱根本部分に腐食が見られたため支柱の切断撤去）

2月 管理棟1階男子トイレ壁タイル修繕 121,000円

（トイレ壁面のタイルの一部が剥がれ落ちたり、浮いていたりしたため修繕）

工事

3月 アスレチック場遊具設置工事費 2,838,000円

（遊具名「連続渡り」 支柱は金属だが、歩く部分は国内産木材を使用した遊具）

■評価

新設アスレチック遊具として、ロープなどで繋がれた不安定な丸太の上を渡る遊具「連続渡り」を新設した。遊具の増設は、施設の在り方について検討しながら進めていく。

アスレチック遊具の定期点検を年1回実施し、遊具の安全性を確保しており、本年度の点検結果では修繕や撤去の判定はなかった。

日常管理を委託している地元の有志団体「白山ふれあいの森くらぶ」により施設内のトイレ清掃や草取りなどの業務や施設の開閉錠を実施しているが、構成員の高齢化が進み、委託内容のうち低木樹木の剪定など体力的に請負困難なものがでてきた。施設の維持管理については、アスレチック場、キャンプ場の利用状況等を考慮しながら施設そのものの在り方を検討していく必要がある。

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	歴史民俗資料館	No.	1
事業名	文化財保護事業		

■基礎情報

目的	郷土に遺る貴重な文化遺産の保存に努め、積極的に活用することにより次世代へ継承する。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・ 指定文化財の保存と活用・ 新規に指定可能な文化財の調査・ 町の歴史に係る調査及び研究	<ul style="list-style-type: none">・ 埋蔵文化財の保護と開発に係る調査・ 伝統芸能の継承と普及
現在における経過又は課題	<p>町内に遺る指定文化財及び未指定でも近年急速に失われつつある、郷土の歴史を把握する上で貴重な文化遺産について日々調査を行い、それらを保存及び活用することにより、町民の保護意識の醸成を図る。</p> <p>各地区に伝わる伝統芸能について、近年継続が困難になりつつあるため、伝統芸能を発表する場及び次世代へ継承する事業を推進する。</p>	
令和4年度の目標又は改善策	<p>指定、未指定に関わらず、町内に遺る文化遺産等について、専門家や地域住民の協力を得ながら調査を進め、その成果を町民に還元する。</p> <p>毎年4月及び10月に開催する伝統芸能発表会及び大口北小学校で実施している各地区の保存会と児童の交流事業を開催し、発表及び次世代へ継承する場を設ける。特に秋の伝統芸能発表会は、令和2及び3年度に実施できなかったが、地域と連携し、多世代が集う憩い広場での新しいイベントを開催する。また、各地区の活動状況を把握しながら、保存会の維持発展に寄与する。</p>	

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が生きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	所蔵資料点数						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
10,387 点	12,898 点	13,471 点	13,838 点	14,159 点	13,400 点	13,600 点	13,800 点

■ 3年間の目標

目標	多世代が集う憩い広場での新しいイベントの創出					
	項 目 (単位)	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	令和4年度に開催した伝統芸能発表会及びそれに付随したイベントの反省点を活かし、イベント全体の精度を上げる。
R6 年度	伝統芸能発表会とともに、地域のイベントとして規模を拡大させる。

■ 作業工程 (当該年度)

月	作 業 内 容
	文化遺産の調査及び普及啓発活動 調査は専門家や地域住民の協力を得ながら通年で実施。地元の文化遺産に関する認知度を高めるため、普及啓発活動を随時開催。
4	伝統芸能保存及び継承 金助桜まつりでの伝統芸能披露
6	伝統芸能保存会会議において、各地区の現状等を把握し、今後の継続的な活動について検討。
10	多世代が集う憩い広場での伝統芸能発表会の開催 大口北小学校との交流会

■目標又は改善策に対する取組内容

町内に遺る文化遺産について、町内で活動する各種団体と連携しながら調査を進めた。町内の文化遺産に関する講演会及び現地解説は、令和2年度と比べると依頼が徐々に復活し、感染症予防対策を講じつつ実施することができた。

しかし、今年度も伝統芸能発表会は春及び秋ともに中止となった。そのような中、北小学校連携事業「ふるさと大口・お祭りたいけんひろば」は、感染症予防対策を講じた上で、各保存会それぞれ別の日に実施することができた。

■評価

今年度はコロナ禍前まで活動は復活しないものの、昨年度の状況から徐々に好転し、感染症予防対策を講じつつ、文化遺産に係る講演会及び現地解説の依頼を受けるようになった。それと併せて感染状況に左右されない範囲で各団体とともに文化遺産の調査も行うことができた。

そのような中、伝統芸能発表会は昨年度に引き続き中止となり、各保存会の伝統芸能を披露する場を提供することができなかった。しかし、北小学校の「ふるさと大口・お祭りたいけんひろば」は開催することができ、この状況の中、各保存会の活動に寄与することができた。来年度こそ伝統芸能発表会を開催できるよう、準備を進めていきたい。

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	歴史民俗資料館	No.	2
事業名	歴史民俗資料館運営事業		

■基礎情報

目的	先人の培ってきた過去の営みを現在に伝えるため、郷土「おおぐち」に関する事柄や美術分野等の展示を実施することにより、町民の知的欲求に応える。また、小中学校の見学受入れや資料貸出等により、学校教育に寄与する。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・年4回の企画展開催・常設展示室の管理・展示解説及びそれに係る調査研究・文化財収蔵庫の管理	<ul style="list-style-type: none">・収蔵品管理及び活用・学校授業による見学受入れ・博物館実習生の受入れ・年報、展示図録等の発行
現在における経過又は課題	<p>年4回開催している企画展のうち、春の企画展「端午の節句」及び冬の企画展「ひなまつり」は毎年恒例の企画展である。しかし、令和2年度は開催中止となり、令和3年度は好評の写真撮影コーナーを変更した上で実施した。今後も新しい生活様式に対応した方法を検討及び実践し、町民が安心・安全に資料館を利用する機会を創出する。</p> <p>文化財収蔵庫内の資料及び施設自体の活用を推進する。収蔵品については、小中学校及び高齢者施設等に対し積極的に利用してもらえるように推進する。</p>	
令和4年度の目標又は改善策	<p>定例化した春及び冬の企画展は、新しい生活様式に対応した方法を検討しつつ、来館者の安全を確保した上で実施する。夏及び秋の企画展は、町制60周年や姉妹都市・松江を知っていただく機会を創出するテーマを中心に実施する。</p> <p>文化財収蔵庫及び収蔵品の活用は、年1回の施設開放及び月1回の「オレンジカフェ・大口」への資料貸与を引き続き実施し、教育及び福祉関係機関と連携を深める。</p>	

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が生きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果指標	所蔵資料点数						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
10,387 点	12,898 点	13,471 点	13,838 点	14,159 点	13,400 点	13,600 点	13,800 点

成果指標	入館者数						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
15,617 人	9,528 人	776 人	1,506 人	5,365 人	18,000 人	19,000 人	20,000 人

■ 3年間の目標

目標	来館者の安心・安全を確保した展示方法の実施					
項目(単位)	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	新しい展示方法及びワークショップ等、対面での効果的な実施方法の検討
R6 年度	新しい生活様式に対応した展示及び関連イベントの実施

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	春の企画展開催（5月下旬まで）
6	中学生職場体験受入れ
7	夏の企画展開催（9月上旬まで）
8	博物館実習受入れ
10	秋の企画展開催（12月中旬まで）
11	ふれあいまつりでの文化財収蔵庫一日開放
1	冬の企画展開催（3月中旬まで）

毎月、大口町社会福祉協議会が開催する「オレンジカフェ・大口」に収蔵品貸出
小中学校、高齢者施設及び町内各種団体に対し、文化財収蔵庫の団体見学受入れ及び収蔵品貸出

■目標又は改善策に対する取組内容

昨年度に引き続き、感染症予防対策を講じた上で年4回の企画展を実施した。春及び冬の企画展は、「端午の節句」、「ひなまつり」を開催したが、甲冑、陣羽織、お内裏様及びお雛様の衣装を着て写真撮影ができるコーナーは中止とし、替わりに五月人形の顔出しパネルや雛人形の大階段を設置した。夏の企画展は、姉妹都市である島根県松江市の伝統工芸品「出雲民藝紙」に関する展示を行い、秋の企画展は、町制60周年記念企画展として、町の60年のあゆみについて開催した。

文化財収蔵庫の収蔵品活用について、今年度は「ふれあいまつり」における収蔵庫開放を再開できた。また、大口町社会福祉協議会との連携事業「オレンジカフェ・大口」は一時再開し、小学校3年生が対象の「むかしのどうぐ」の授業は、資料館及び収蔵庫の見学、もしくは学校へ館蔵品を持ち込む出張授業と各学校依頼内容の違いはあったものの実施することができた。

■評価

今年度は臨時休館が無く、通年で開館することができ、感染症予防対策を講じつつも資料館活動を推進することができた。また、年4回の企画展では、姉妹都市松江市の伝統工芸品や、町制60周年に関する展示を実施し、好評を得ることができた。ただし、過去に好評であった春及び冬の衣装を着て写真撮影ができるコーナーや、ワークショップなど対面で行うイベントについては実施せず、なるべく人と人が距離を確保できるものに変更したため、次年度以降は徐々に復活させていきたい。

文化財収蔵庫の収蔵品活用についても、今年度は徐々に復活しつつあるため、次年度以降もさらに取り組みを推進できるよう努めていきたい。

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	歴史民俗資料館	No.	3
事業名	歴史文化教育事業		

■基礎情報

目的	町内の歴史及び文化を、様々な団体と連携しながら次世代へ継承することにより、町民が郷土を愛し、町の魅力として誇りを持てるまちづくりを推進する。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・ 保育園との連携事業・ 小中学校における郷土学習	<ul style="list-style-type: none">・ 地域自治組織との連携事業・ 町内各種団体との連携事業
現在における経過又は課題	<p>町内各種団体から依頼を受け、講演及び現地解説を実施する中で、地域（家庭）において郷土の歴史及び文化を次世代へ語り継ぐことが断絶している状況が窺える。</p> <p>このため、様々な団体と連携し、老若男女問わず郷土の歴史、文化及び現在も遺る多様な文化遺産を次世代へ継承することにより、町民の郷土愛を育み、町の魅力として誇りを持つことができるようなまちづくりを推進していかなければならない。</p>	
令和4年度の目標又は改善策	<p>各保育園及び各地域自治組織との連携事業、町内の小学校6年生及び中学校2年生を対象とした「松江開府の祖 堀尾吉晴公」をはじめ、他学年の「ふるさと大口」に関する授業を継続して実施。機会があれば様々な団体と連携し、本事業を幅広く展開する。昨年度はイベントが開催できない分、冊子作成等、記録を残す連携事業が多かったため、今年度はそれらの記録類を活用できるようなイベントを開催する。</p> <p>また、小中学校の郷土学習での講話や資料提供等、可能な支援を提案し、重点的に連携を推進する。</p>	

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第4章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する				
	基本政策	第1節	生涯学習の推進				
成果 指標	出前講座・授業開催数						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
20件	44件	30件	38件	40件	55件	60件	65件

■ 3年間の目標

目標	子どもの発達段階に応じた郷土学習の推進					
	項 目 (単位)	R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	前年度までの実績を振り返り、発達段階に応じた学習プログラムの検討及び実践
R6 年度	実践した学習プログラムを振り返り、改善策を検討して実践

■ 作業工程 (当該年度)

月	作 業 内 容
	<p>北、西、南保育園連携事業「郷土を愛する心を育む活動」(年間3園合計で14回程度) 小学生を対象とした児童の発達段階に合わせた郷土学習(各学年で実施) 小学校6年生郷土学習「郷土の偉人 堀尾吉晴公」(9月以降実施) 中学校2年生郷土学習「郷土の偉人 堀尾吉晴公」(6月頃実施) 中地域自治組織歴史民俗部会にアドバイザーとして参加 南地域自治組織「南地域の歴史や文化遺産を次世代につなぐ事業」 「おおぐち歴史ガイド」との連携事業</p> <p>その他、まちづくり団体等、町内の様々な団体とともに連携し事業を展開</p>

■目標又は改善策に対する取組内容

保育園及び小中学校については、感染症予防対策を講じつつ昨年度同様様々な依頼をいただき、実施することができた。感染症予防対策を講じつつ、保育園は南保計5回、西保計5回、北保計4回にわたり「郷土を愛する心を育む活動」を実施し、小中学校は「郷土の偉人 堀尾吉晴公」をはじめ、各種授業の連携を進めた。地域自治組織は、中地域自治組織のアドバイザーの依頼を受け、冊子「大口町中地域の変遷」を作成し、南地域自治組織の「南地域まちづくりかわら版」への寄稿を行った。

この他、今年度より講演及び現地見学等の依頼があり、約4年ぶりに実施することができた。

■評価

保育園及び小中学校は、昨年度に引き続き、ほぼ当初の計画どおり実施することができた。町内の各種団体との連携は昨年度全く依頼が無かった、もしくは計画していたものの中止となったが、今年度より依頼を受け、実施することができた。今後よりコロナ禍前に活動が復活していくと考えられるので、こちらも提案を積極的に行いつつ、依頼が増えることを期待したい。